

令和2年度 学校評議員会 運営状況報告

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	8月20日(木)	場所	コロナ禍により招集せず	出席状況	招集せず4名へ資料を送付して意見を集約
第2回	日時	12月17日(木) 16:00	場所	進路学習室	出席状況	3名出席
第3回	日時	令和3年3月11日 16:00	場所	進路学習室	出席状況	4名全員出席

2 学校評議員に求めた事項

各学期ごとに、本校経営方針に基づいた、教務部、進路指導部、生徒指導部、国際人文科、体育科、1学年、2学年、3学年、その他学校全体についての成果と課題について報告し、改善策や多角な視点からの意見等を求めた。

3 学校評議員の意見

- ①学校経営方針、生徒の活躍、行事や学業、進路指導、生徒指導、国際人文科、体育科、各学年の取り組み内容から、先生方が良く努力していることが理解できた。
- ②文武両道について、達成させるためには、生徒に対して一層時間にメリハリを持った学校生活にしていくことが必要だと思う。
- ③大学入学共通テストについて、試験内容は従来のもものと異なる傾向があるものと考え、知識を活用して解く問題等が出題されることが想定されるため、進学校に有利な結果になるとも考えられ、学校間格差も無視できない。本県の対応の遅さが指摘されているため、迅速に対応することが重要である。
- ④アクティブ・ラーニング等も活用し、教え込むのではなく、考える授業の実践も大切になると考える。
- ⑤各種講座について、部活動での評価は得られているので、学業での評価を高める必要があると考え、大学進学率や授業の充実はとても重要であり、そのためにも早朝講座は重要で、全教科で実施するべきだと考える。

4 学校運営に反映した事項

- ①コロナ禍の中で工夫して、ある程度の行事が行えた。学年会行事で全校体制で行えなかった行事についてカバーしてもらい、指導の充実を図った。
- ②最大限の時数確保に努め、学習の遅れを出さずにすんだ。
- ③1年間をとおして、リモート対応やiPadの活用法のスキル向上を図った。ICT支援員も活用し、研修を充実させた。
- ④大学入学共通テストの受験生に最後まであきらめさせない指導等、コツコツと続ける姿勢を1・2年生時から身につけさせる。
- ⑤年間をとおして課外講座や英検2次対策、大学入試面接試験対策を行い、生徒の学力向上・進路実現を図った。

5 課題その他

- ①部活動と学習活動の切り替えと両立
- ②早朝講座の充実と大学入学共通テスト受験者の大幅アップと国公立大学の合格率アップ
- ③授業改善と学力向上、家庭学習の定着